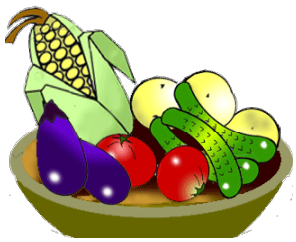
矢祭小だより

矢祭町立矢祭小学校
令和３年８月２７日（金）
学校だより　No.１３
文　責　　伊藤　弘行

ウサギ発見

２０日（金）２学期最初の朝、１年生の男の子が「ウサギがいる」と、バス停に立っていた私を呼びました。行ってみるとアスファルトの地面にスクールバスのエアコンの水が溜まっていました。

「確かにウサギだ！！」
感心するとともに、この感性を大事にしたいなと思いました。



タブレット贈呈式

２６日（木）、タブレット贈呈式を行いました。式では、佐川町長さんから代表の６年鈴木梨心さんがタブレットを受け取り、鈴木彩華さんが、お礼の言葉を述べました。

一人一台タブレット時代のスタートです。これまでよりも学習内容が広がるとともに、学習の仕方も多様になります。

例えば、調べ学習では、課題や目的に応じて、それぞれがインターネットを使って、様々な情報を主体的に収集したり、みんなの前で発表する時も写真や動画を用いてプレゼンテーションしたり、遠く離れた学校や海外と遠隔で交流したりと新しい学びの可能性が拡大します。

また、ドリル学習もそれぞれのスピードでたくさんの問題を解くことができるようになり、丸付けに並ぶという光景は無くなるかもしれません。

一方で、従来のような鉛筆でノートに書いたり、間違えたら消しゴムできれいに消して書き直したりという学習スタイルの良さも大切にしていきたいと思います。

１００文字作文の紹介　～ボランティアについて～

ぼくができるボランティアは、ごみ拾いです。
ぼくは、「ごみは希望のかけら」ということばで、ごみ拾いが好きになりました。
これからも、ごみ拾いを続けていきたいです。

わたしは緑の少年団でゴミ拾いをしました。
一番多かったゴミは、タバコのすいがらでした。わたし達がゴミ拾いをして、町の人がそれを見て、「ゴミをなくそう。」と思ってほしいです。わたし達も町をきれいにしたいです。